



あに

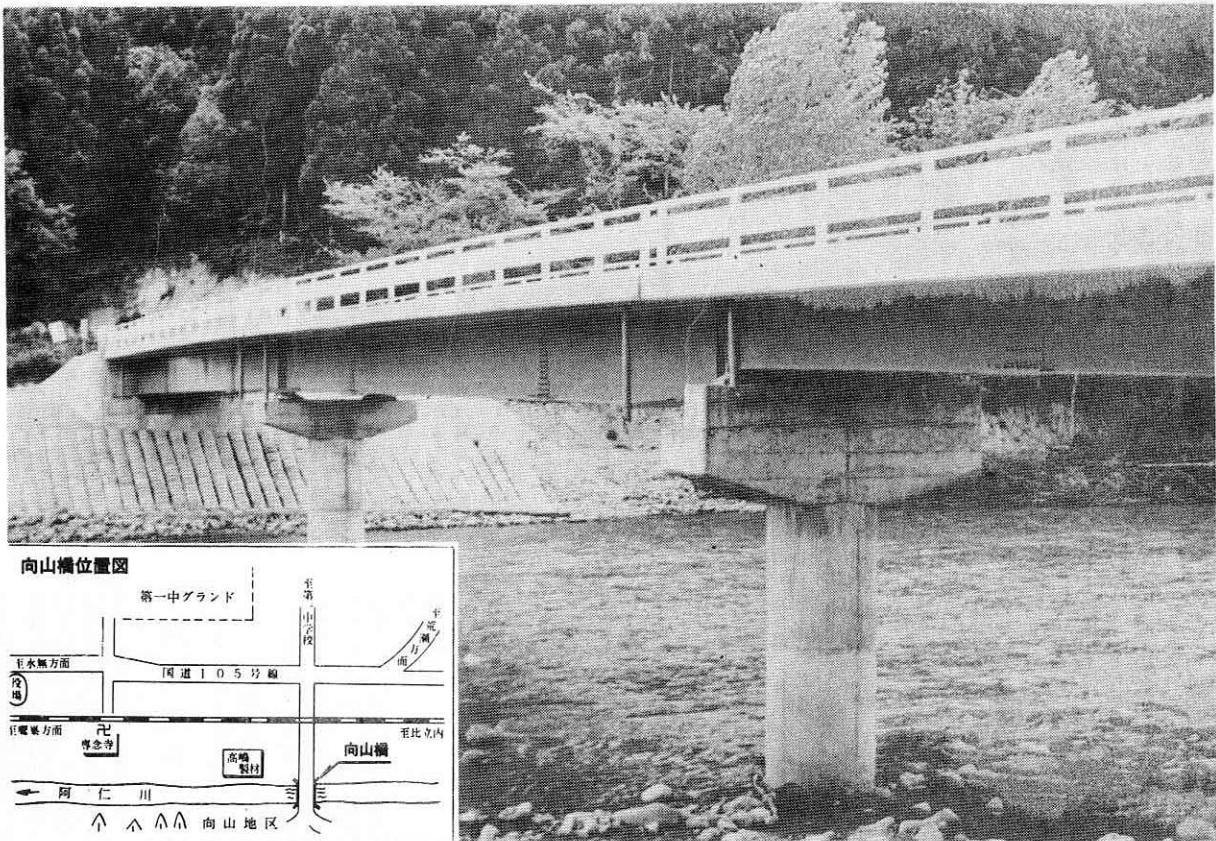
編集と発行 秋田県阿仁町役場総務課

印刷所 秋田県阿仁町水無安東印刷所

142号

'74 6月

価格 10円



町の人口

7,398人

(8人減)

男 3,538
女 3,860

世帯 1,813

(1世帯減)

転入 21人
転出 27人
出生 3人
死亡 5人49年5月31日現在住民
基本台帳人口による

四十八年度の事業として建設していた「向山橋」が待望の完成をみました。橋は、銀山上新町西裏から、向山にかけてのびる向山林道の一部として施行されたもので、長さが七十一米四〇・巾四米の永久橋です。

この橋の特徴は、町管理の橋では最も長く、また、その規模からして、林道橋としては国内一といわれることです。

向山地区は、本町通りと目と鼻の先にありながら、阿仁川が障害となつて開発が遅れていました。一三八七年、銀山として最初に開発されて以来約六百年目にして本格的開発のメスが加えられたことになったわけです。

この地区には、森林資源と山菜も豊富で、この資源開発と経済性を高めると同時に、姫ヶ岳、露熊、大平山などの観光ルートとしての期待ももれています。

また、この地域の開発により、細長いわが町が横に広がるという新しい発展への展望も生まれてきました。

赤色のケタと、白いらんかんの橋が映える阿仁川の風景は、新たな景観を呈し夏の夕涼みの格好な場所ともなることでしょう。

橋は、向山林道(延長二百四〇米)の一部として施行され、工費が一千七百十八万九千円。施工は古河鉱業(橋体は古河鉱業が製作)によるものです。

開発の夢乗せて 向山橋が完成

